



# 令和7年度 河川協力団体との意見交換会

(吉井川・旭川・高梁川 岡山河川事務所)

- ・吉井川では1団体、旭川では1団体、高梁川では2団体が河川協力団体として活動を行っています。
- ・岡山河川事務所では、令和7年11月10日(月)に全4団体の代表者に来所いただき、意見交換会を開催しました。
- ・各団体の令和7年度の取り組み内容を出席者から報告いただく中で、「他地区の河川協力団体と意見交換会ができないか検討して欲しい。」といったご意見をいただきました。
- ・事務所からは、中国地整管内の河川協力団体の指定状況(令和6年度)の紹介や助成事業募集に関する情報提供を行いました。
- ・河川協力団体間で他団体に対する質問や活発な意見交換が行われました。

## 意見交換会の様子



令和7年11月10日岡山河川事務所にて開催

## 活動の様子



瀬戸アユモドキを守る会(水辺教室)

## 参加団体

### 吉井川水系

瀬戸アユモドキを守る会

### 旭川水系

旭川みの広場を愛する会

### 高梁川水系

水江の渡し跡公園  
箭田地区まちづくり推進協議会

# 令和7年度 河川協力団体との意見交換会（太田川河川事務所）

太田川河川事務所では、太田川水系旧太田川で2団体、古川で2団体が河川協力団体として指定され、活動を行っております。

河川協力団体との意見交換会は今年度が初開催となり、令和7年11月19日に河川協力団体3団体と各団体の活動内容の紹介、課題及び河川管理者への要望について意見交換を行いました。

河川協力団体間で他団体と協力して活動できるかについての意見もあり、活発な意見交換が行われました。

また、令和8年1月には、河川協力団体の皆さまとの繋がりを深め、地域と連携した維持管理・川づくりを今後一層進めることを目的として、太田川水系古川をフィールドに河川環境勉強会を開催予定です。

## 意見交換会



令和7年11月19日太田川河川事務所にて開催（ひろしまSUPクラブ欠席）

### 参加団体

- 旧太田川
  - ・山陽工業株式会社
- 古川
  - ・せせらぎ会
  - ・古川トンボしらべ隊

## 活動の様子



山陽工業株式会社(クリーン太田川)



せせらぎ会(河川安全利用点検)

# 令和7年度 河川協力団体との意見交換会（八田原ダム管理所）

- ・平成10年からギフチョウ保全活動を行っている河川協力団体「伊尾小谷地区自治会」は平成27年3月6日に指定を受けており、県のRDBでは一定の成果を上げていると評価されています。
- ・令和7年11月25日(木)に団体の代表者他2名と八田原ダム管理所において意見交換会を開催し、活動内容の紹介及び抱えている課題等について意見交換を行いました。
- ・管理所としては、重要種「ギフチョウ」の保全活動を今後も継続するために、同団体と連携して取り組んでまいりたいと考えています。

## 意見交換会

## 活動状況

## RDBひろしま2021

河川協力団体（伊尾小谷地区自治会）と八田原ダム管理所との  
意見交換会

日時 令和7年11月25日(木) 11:00~12:00

場所 八田原ダム管理所 3階大会議室

次 第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 挨拶
4. 意見交換
5. 閉会



ミヤコアオイの補植



保全活動(下草刈り)

ギフチョウ 絶滅危惧Ⅱ類(VU) VU-①, VU-②, VU-③	環境省: VU 広島県 2011: NT 広島県 2003: NT
<i>Luehdorfia japonica</i> Leech, 1889 チョウ目 アゲハチョウ科	
概要	国内分布: 本州 国外分布: - 形態: 前翅長29~32mm, 明るい黄白色の地色に黒く太い帯がはいり、後翅外縁部には朱色、オレンジ色、青色の紋がはいり、ヒメギフチョウ <i>L. puziloi</i> に似るが、前翅端の黄色紋が内側にずれることで区別できる。 生息環境: 夏緑広葉樹の二次林(時にアカマツ林)。 その他: 年1回, 4月上旬頃から発生する。食草はサンヨウアオイ, ミヤコアオイ, ヒメカンアオイなど。
生息・生育状況	1995年頃から多くの生息地で発生数が減少しており、例えば多産地として知られた東広島市蚊無峠では2015年に確認できない、安佐北区可部の産地も近年は確認できないという情報が得られている。一方、現地調査では2016年~2020年の間に三次市, 世羅町, 廿日市市, 広島市佐伯区, 同安芸区, 呉市などで生息が確認されたが、世羅町を除いていずれも個体数は少なく予断を許さない状況である。
存在を脅かす要因・保全の留意点	各種開発にともなう夏緑広葉樹林の減少のほか、薪炭林として利用されなくなった里山放置林の増加にともなう生息環境の悪化・消失が続いている。また、近年はホンシュウジカが増加してこれまで被害のなかったカンアオイ類が食害を受けるという新たな問題が生じ、ギフチョウ発生地の消滅に拍車がかかっている。本種の保全にあたっては、地域によっては夏緑広葉樹林の里山管理に加え「シカ防護柵」の設置なども併せて実施する必要がある。
特記事項	第3版では「準絶滅危惧(NT)」であったが、従来の里山放置林の増加にともなう生息地の消滅に加え、シカによる食草の食害という新たな問題が生じていること、産地によっては無視できない採集圧の影響などを考慮し、「絶滅危惧Ⅱ類(VU)」にカテゴリーを変更した。 世羅町の八田原ダム(国土交通省)では、地域住民と連携して本種の生息地の維持管理を継続しており、一定の成果を上げている。
産地情報	広島市, 呉市, 竹原市, 三原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 三次市, 庄原市, 東広島市, 廿日市市, 安芸高田市, 府中町, 熊野町, 坂町, 北広島町, 世羅町

# 令和7年度 河川協力団体との意見交換会(佐波川 山口河川国道事務所)

令和7年12月2日、山口河川国道事務所において河川協力団体意見交換会を開催しました。当日は、事務所からの活動報告や広報の取り組みについて説明した後、各団体から令和7年度の活動報告と令和8年度の予定を共有しました。

意見交換では、「団体間交流の促進と継続的な活動」をテーマに、イベント協力の継続、上下流団体の交流、広報支援など、今後の活動をより良くするためのアイデアが活発に出されました。

お互いの取り組みや課題を率直に話し合うことで、連携の重要性を再確認し、今後も協力して活動を進めていく良い機会となりました。

## 意見交換会の様子



## 参加団体

- ・佐波川に学ぶ会(平成26年度指定)
- ・佐波川SDGs(令和2年度指定)
- ・和田の里づくり推進協議会(令和3年度指定) ※欠席
- ・(株)井原組(令和5年度指定)
- ・山口河川国道事務所  
(副所長:光井、河川管理課長:熊本、専門官:池岡)

## 河川協力団体からの意見・感想等

今回の意見交換会では、今後の活動をより効果的に進めるため、カレー大作戦での事前協議からの参加による連携強化、河川管理施設の補修時に河川巡視情報を共有して効率化を図る提案、上下流団体の交流促進、若い世代の参加を促す工夫に加え、ライフジャケットなどの物品の貸し借りや、各団体の活動を国のSNSや広報誌で発信する広報強化など、さまざまな前向きな意見が交わされ、団体間の協力をさらに深める有意義な場となりました。